



工藤 隊員

# 地域おこし協力隊日記 #16



三好 隊員

こんにちは、協力隊の三好です。実はこの前、念願だったハンターになりました！大学生の時にシカや狩猟制度について学び、協力隊卒業後は、留萌管内で初のジビエ加工場をつくるのが夢です。まだ1頭も獲っていないヒヨッコですが、夢に向かって頑張ります。

## 羽幌高校生と参加～日本最大の鳥の祭典・ジャパンバードフェスティバル(JBF)～ 文：三好隊員

11月4日～5日、千葉県我孫子市で開催されたJBFに羽幌シーバードフレンドリー(SBF)推進協議会が出展しました。コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となり、鳥に関係する様々な団体や全国の鳥好き達がたくさん参加しました。

羽幌高校からも5月からSBFの環境学習に取り組んできた1年生が4名参加し、学習内容やSBFの取り組みを来場者に紹介しました。最初は緊張していた高校生たちでしたが、次第に自ら来場者に声をかけていき、後半には写真や展示品を使った説明や難しい質問にも答えていました。

海鳥や地域の環境を守る取り組みに協力するSBF認証団体の北るもい漁業協同組合の甘えびカレーや甘えび出汁、上築有機米生産組合のお米などの販売も行い、とても好評でした。



SBFのはっぴを着て来場者に説明を行う羽幌高校生

## 水産クラブ校内発表会の開催 文：工藤隊員



天売高校1年生の発表風景

10月22日(土)、天売高校の高校生のみなさんが、水産業をテーマとして研究した成果を島民のみなさんに発表しました。発表したのは全部で5チーム。それぞれのタイトルは①「海とプラスチック～天売島を守っていく～」②「生息地以外の海水でガヤを育てるとどうなるのか」③「ハッチャン」④「MPsはどこからくるのか」⑤「プロジェクト天売～稚貝の放流でアワビを救う～」で、テーマは多岐に渡っていました(記載は発表順。一年生の発表は②③、二年生の発表は①⑤、三年生の発表は④)。

審査の結果、準優勝はマイクロプラスチックをテーマとして研究した「MPsはどこからくるのか」で、優勝は天売島におけるアワビの資源をどう増やすかをテーマとして研究した「プロジェクト天売～稚貝の放流でアワビを救う～」となりました。なお、優勝したチームは、11月9日に小樽水産高校で開催された水産クラブ研究発表大会に臨み、努力賞を獲得しました。

どの発表も実験や資料での調査がよく行われており、興味深かったです。

### 羽幌の自然すなっぷ

「シロザケの渾身のジャンプ！」

森から海へ送られた恵みを森へかえすカムイチェプ(アイヌ語で『神の魚』)



### 羽幌町地域おこしFacebookもぜひご覧ください！

協力隊の活動や日々の出来事を発信していきます。

登録はこちらから ⇒

